

平成30年度事業計画について

福井県健康管理協会は、新法人移行後、第1次中期事業計画に基づき、事業展開を行ってきた。しかし、協会を取り巻く社会環境が大きく変化し、今後の協会の置かれた状況が厳しくなることが予想される中、こうした変化に柔軟に対応しながら、各事業を効果的に推進するために、第2次中期事業計画を策定し、協会職員が一体となって、県民の健康管理の一役を担う団体を目指し、事業に取り組むこととしている。

平成30年度は、第2次中期事業計画の初年度であり、計画に盛り込まれた事業の着手および推進に向けた事業編成を行う。

主な取り組みとして、がん検診事業に関しては、胃内視鏡検診の体制の整備(画像のダブルチェックの運用開始)や、国や県が目指している精検受診率90%に向け、受診勧奨センターの活用の見直し等、がん検診の精度向上に努める。また、検診車整備計画の見直しや、健康診断システムの改修により、集団検診業務の効率化を図る。さらに、健康関連の情報発信の今後の在り方について検討し、協会一体となって取り組む。

ふくい健康の森管理運営事業に関しては、県民健康センターでは、がん検診事業と両立できるよう効率的な運用の強化や、システムの改修などによる業務の効率化を図り、また、顧客ニーズに合わせたコースの見直しをすることにより、新規受診者獲得に努める。けんこうスポーツセンターでは、平成30年度に、健康スポーツ公園の改修工事による供用停止に伴う利用者数減が予想され、その対策として、集客率の高い夏場の利用者を対象とした広報活動の強化や、高齢者社会に対応する取組みとして、サルコペニア対策等の教室の開催により、利用者数減に歯止めをかけることに努める。生きがい交流センターでは、入浴施設の床面改修工事終了に伴う“リニューアルイベント”等の企画や、利用者ニーズに対応した取組みをすることにより、利用回復に努める。また、がん検診に関する啓発企画等、協会の長を生かした取組みをすることで、類似施設との差別化を図り、新規利用者獲得に努める。

なお、平成30年度に予定される、ふくい健康の森施設の次期指定管理申請に関しては、引き続き、3施設の指定管理者の認定に向け、職員一体となって申請業務に取り組む。

1. 生活習慣病予防・健康管理に関する事業

がん対策基本法に基づき、県民全体のがん予防を推進するため、検診車の派遣等によるがん検診、県民健康センターでのがん検診を含めた健康診査事業を行い、一元的管理による効果的ながん対策に取り組むとともに、必要な情報の提供等を行う。

事業経費（総額）634,663千円

(1)がん検診事業

① 精度管理の向上

がん検診の信頼性・実効性を担保する精度管理の重要性を踏まえ、その一層の向上に努める。

- ・胃内視鏡検診 画像ダブルチェック内視鏡検診の運用開始 <新>
- ・肺がん 精密検診報告書の見直し

② 集団検診の受診者確保

小規模事業所を対象とする検診受診の啓発や、県・市町等と連携した受診勧奨、啓発イベントでの出展を通し、受診者確保に努める。

- ・小規模事業所対象の出前検診
- ・アンケート調査による効率的ながん検診の啓発・勧奨（県と連携）<新>

③ 個別検診体制の強化

集団検診業務を中心とした既存業務の効率化を図ることにより、個別検診の受入れ体制の強化に努める。

- ・健康診断システム改修(職域検診)
- ・胃X線検診車廃車と胃がん検診業務効率化の検討

- ・がん検診事業状況の組織的な分析・検証体制の構築 <新>
- ④ 健康に関する情報発信機能の強化
- WEBや広報媒体などを活用し、がんを主とした健康管理に資する情報を発信・提供する事により、県民に協会の存在意義と周知度の向上を図る。
- ・ポータルサイト「がんネットふくい」の内容見直し
 - ・がんを主とした健康情報発信体制の検討 <新>

	30年度計画(人)			29年度見込み(人)		
	集団	個別	妊婦	集団	個別	妊婦
胃がん	16,000	10,300		10,840	6,870	
大腸がん	39,000	14,000		38,410	14,630	
肺がん	X線	36,600	14,500	35,850	17,390	
	喀痰	600	200	600	220	
子宮がん	11,700	14,000	5,600	11,880	15,330	5,740
乳がん	13,200	8,500		13,090	8,790	
計	117,100	61,500	5,600	110,670	63,230	5,740
合計	184,200			179,640		

(2)がん検診受診勧奨事業

- ① 集団検診の受診者確保
- 受診勧奨センターを未受診者の勧奨だけでなく、精検未受診者にも対応できるように、運用体制の見直しを図る。
- ・精密検診受診促進事業 <新>
- ② 県内市町のがん検診の未受診者対象者に電話等で受診の勧奨を実施する。
- 対象者数 : 22,000人(29年度見込 23,000人)

(3)健康診査事業

- ① 確実な検診業務の実施と健診内容の充実
- 特定保健指導の受入れ体制の強化や、健診内容の見直し等を行い、新規受診者確保に努める。
- ・特定保健指導の実施保険者拡大 <新>

コース名	30年度計画(人)	29年度見込(人)
総合健康コース	1,250	1,250
一般健診	3,150	3,100
骨密度健診	250	240
特定健診	20	20
特定保健指導	310	190
その他の健診	320	350
計	5,300	5,150

(4)無料健康相談・無料健康講座事業(県民健康センター)

一般県民を対象に、県民健康センターや生きがい交流センターで健康・ストレス・病気等に関する講座や相談を実施する。

利用人数 : 1,150人(29年度見込 925人)

(5) 啓発・キャンペーン事業

- ① がん征圧月間（9／1～30）・結核予防週間（9／24～30）の取組み
他団体や企業と連携協力し、がん征圧月間広告等の掲示依頼やがん征圧月間ポスターや結核予防ポスター等の配布、パネル展開催、マスコミを利用した広告、広報活動等を実施する。
- ② 県、市町との連携
県が開催する健康増進イベントへの協力および広報活動の連携や市町が開催する健康フェアへの参加を通じ、疾病予防と健康づくりの啓発活動に協力する。
- ③ 関係機関、団体等との連携
医師会やピンクリボンの会（ピンクリボンキャンペーン）、がん克服の会などの活動に積極的に参画、協力を行う。
- ④ 日本対がん協会グループ福井県支部としての活動
リレー・フォー・ライフ・ジャパン ふくいを開催する。
- ⑤ 講演会・研修会の開催
市町が主催する講演会に講師派遣をするほか、従事者を対象に専門的な研修会を開催し、専門分野に関する情報提供をする。

2. 健康づくり・体力づくり・生きがいつくり推進事業

「ふくい健康の森」の施設を活かし、県民の健康づくり・体力づくり・生きがいつくりを一体的に推進するための各種教室の開催や施設の提供を行う。

事業経費（総額） 402,013千円

(1) 健康増進各種教室・運動障害回復訓練事業（県民健康センター）

生涯を通じて積極的な健康づくりのために、運動・栄養・休養のバランスのとれた生活習慣の確立をめざして、リラクゼーション教室、ヘルシー栄養教室等の健康増進各種教室および地域リハビリテーション事業（地域支援事業）の運動障害回復訓練事業を実施する。

利用者数： 2,900人（29年度見込：3,620人）

(2) 運動プログラム指導事業（けんこうスポーツセンター）

個人の健康づくりへの支援として、個別運動プログラムの発行、体力テストおよび3か月減量講座等を実施し、きめ細かなアドバイスをを行う。

利用人数： 7,800人（29年度見込：7,600人）

(3) 生きがいつくり推進事業（生きがい交流センター）

世代間の交流や趣味を広げ、楽しみながら生きがいつくりに取り組めるよう、県老人クラブ連合会との連携事業をはじめ、生きがい創作講座、親子チャレンジ講座、文化講座等を開催する。また、ふれあいコンサートや似顔絵展を開催し、利用者にやすらぎの場を提供する。

特に、協会の特長を生かした教室事業の強化を図ることにより、類似施設との差別化に努め、利用者増を図る。

(例)認知症講座、脳トレ教室（高齢者対象）

利用人数： 12,100人（29年度見込 9,420人）

(4) 体力づくり教室事業（けんこうスポーツセンター）

様々な年齢や体力に合わせた、フラダンス、キッズダンス等の健康教室および初・中級者向けのテニス教室や水泳教室を開催する。また、利用者ニーズに対応した教室を開催し体力づくりの実践指導を行う。

特に、協会の特長を生かした教室事業の強化を図ることにより、類似施設との差別化に努め、利用者増を図る。

(例)みんなの体操教室（高齢者対象）〈新〉

利用人数： 62,000人（29年度見込：60,000人）

(5) 施設の提供事業

① 健康管理協会、ふくい健康の森広報の強化（各施設）

広報媒体を活用した効果的な広報活動や、今までのイメージから脱却した取組みにより、新規利用者の獲得を図る。

- ・夏季繁忙期による集客強化対策 YAHOO! 広告の掲載
- ・県内および近隣県への広報拡大の検討〈新〉
- ・他団体主催のイベント誘致場所提供

② 各施設運営の改善

利用者の意見を反映した環境づくりに努め、利用者にとって快適な施設環境の提供に努める。

(県民健康センター)

健康の増進に関する会議、研修等に会議室等の施設を提供する。

利用者数： 1,100人（29年度見込：1,200人）

(けんこうスポーツセンター)

温水プールやトレーニングジム、テニスコート等の屋内外の各種運動施設を効果的に活用することにより、子供から大人まで幅広い年齢層を対象に、楽しみながら運動を実践できる場を提供する。

内 容	30年度計画(人)	29年度見込(人)
けんこうスポーツセンター・温水プール	210,000	204,000
健康スポーツ公園	55,600	70,000
計	265,600	274,000

(生きがい交流センター)

「健康の森温泉」として、季節の替わり湯の実施や屋内外に季節感の演出等、入浴に関する情報提供を充実させるなど独自色をアピールすることにより他の施設との差別化を図り、利用者の心身が安らげる場の提供に努める。また、会議、研修等の場として交流ホール、ふれあい研修室等の施設を提供する。

内 容	30年度計画(人)	29年度見込(人)
健康の森温泉	147,300	115,180
交流ホール等	7,480	7,150
計	154,780	122,330

3. 健康管理・健康づくりに関する広報、調査研究事業

がん検診を含めた生活習慣病予防・健康管理に関する事業と健康づくり・体力づくり・生きがいづくり推進事業に関する事業等、協会の事業全体の広報や調査研究を行う。

事業経費（総額） 4, 216千円

(1) 研究・研修事業

がん検診に関する読影精度の向上など健康管理・健康づくりの技術の進歩を図るため、各部位別研究会等を開催し、研究成果を発表する。

30年度計画 25回（29年度見込 25回）

(2) 広報活動

① ふくい健康の森利用者へのサービス還元

健康の森の存在をアピールするため、けんこうスポーツセンター、生きがい交流センターの拠点連携による利用者還元イベント“けんもりふえすた”を開催する。また、福井テレビ主催の「わんぱくフェア」の会場誘致をはじめブース出展等、積極的に協力し、来場者に“ふくい健康の森”をアピールする。

- ・健康フェア「けんもりふえすた」の開催
- ・わんぱくフェアの誘致、協力
- ・健康の森温泉リニューアルイベントの実施 他

② 健康管理協会、ふくい健康の森の広報の強化

マスコットキャラクターやWEB等を活用した、ふくい健康の森のアピール活動等、周知度の向上に努め、利用促進を図る。

- ・LINE会員拡大の取組
- ・マスコットキャラクターグッズの配布（うちわ・ウェットティッシュ 等） 他
- ・情報誌「健康の森通信」等の発行（4回／年）
- ・ホームページによる情報提供
- ・ロゴ・マスコットキャラクターの活用

4. 法人管理

健康管理協会の法人運用に関する業務で法人全体の管理、運営等を行う。

事業経費（総額） 4, 839千円